

水道事業の概要について

■沿革（主な事業のみ）

- ・昭和44年 3月 事業認可 以降5回見直し
- ・昭和46年 8月 給水開始…栗坪取水場、高麗本郷配水池（現高麗本郷配水場内）
（計画人口 8,500人、一日最大給水量 2,125m³）
- ・昭和49～50年度 第1次拡張…高岡浄水場、高麗本郷配水場 外
（計画人口 34,000人、一日最大給水量 9,520m³）
- ・昭和52～60年度 第2次拡張…高萩浄水場、高萩取水場、北平沢取水場
（計画人口 47,600人、一日最大給水量 16,000m³）
- ・昭和59～62年度 第3次拡張…高麗本郷取水場
（計画人口 50,000人、一日最大給水量 17,000m³）
- ・昭和63～平成6年度 第4次拡張…県水導入、高岡配水場
（計画人口 56,200人、一日最大給水量 23,300m³）
- ・平成8～12年度 第5次拡張…田波目配水場
（計画人口 59,800人、一日最大給水量 28,700m³）
- ・平成13年度 駒高配水場（駒高地区への給水）
- ・平成18年度 山根配水場（埼玉医科大学国際医療センターへの給水）
- ・令和元年 9月 事業変更認可（高麗本郷浄水場の浄水方法変更）
（計画人口 56,200人、一日最大給水量 24,600m³）

■事業の状況

項 目	令和6年度末	令和5年度末	比 較
行政区域内人口	54,037 人	54,324 人	△ 287 人
給水人口	54,014 人	54,298 人	△ 284 人
給水戸数	25,329 戸	25,065 戸	264 戸
普及率	99.9 %	99.9 %	0.0ポイント
年間配水量	7,245,869 m ³	7,076,140 m ³	169,729 m ³
一日平均配水量	19,852 m ³	19,334 m ³	518 m ³
一日最大配水量	21,581 m ³	21,245 m ³	336 m ³
年間有収水量	6,430,712 m ³	6,396,459 m ³	34,253 m ³
一日平均有収水量	17,618 m ³	17,477 m ³	141 m ³
県水の割合	54.5 %	54.7 %	△ 0.2 ポイント

■経理・業務の状況

項 目	令和6年度	令和5年度	比 較
水道事業収益(税抜き)	1,073,220,051 円	1,036,592,865 円	36,627,186 円
うち水道料金(税抜き)	872,067,820 円	785,387,410 円	86,680,410 円
水道事業費用(税抜き)	1,087,793,631 円	1,058,737,267 円	29,056,364 円
当年度純利益(△純損失)	△ 14,573,580 円	△ 22,144,402 円	7,570,822 円

項 目	令和6年度	令和5年度	比 較
資本的収入(税込み)	477,477,969 円	359,197,000 円	118,280,969 円
資本的支出(税込み)	697,105,161 円	759,701,310 円	△ 62,596,149 円
収支差引	△ 219,627,192 円	△ 400,504,310 円	180,877,118 円

・資本的収入及び支出に対する不足額を補填する財源の内訳

項 目	令和6年度	令和5年度	比 較
繰越工事資金	0 円	0 円	0 円
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	37,632,788 円	28,755,674 円	8,877,114 円
過年度分損益勘定留保資金	91,292,404 円	151,658,773 円	△ 60,366,369 円
減債積立金	90,702,000 円	120,089,863 円	△ 29,387,863 円
建設改良積立金	0 円	100,000,000 円	△ 100,000,000 円
合 計	219,627,192 円	400,504,310 円	△ 180,877,118 円

■企業債の残高

項 目	令和6年度	令和5年度	比 較
企業債年度末残高	2,703,213,806 円	2,474,039,182 円	229,174,624 円